

新宮・熊野川に1万人のチカラを！

台風12号豪雨災害 和歌山県 **新宮市災害ボランティアセンター通信①** 平成23(2011)年10月4日発行

平成23(2011)年9月6日に新宮市災害ボランティアセンターを、14日に熊野川サテライトを設置して以来、地元のニーズ(希望)と全国から駆けつけてくれるボランティアの皆さんの調整を行っています。それは単に作業の調整ではなく、一日も早く平穏な暮らしを望む人と、一日も早く地元の人たちに笑ってほしいと願って駆けつけてくれたボランティアの皆さんの心と心の橋渡しでもあります。

SOS(ニーズ)があるのにどうしたらいいかわからない人、ニーズを言い出すことが出来ない人、一人で必死に頑張っている人、そんな人々を置いてきぼりにしない。そして、被災したことによるストレスや冬に向けての漠然とした不安や心配など、住民の皆さんが一人で抱えこんだり陥らないよう、寄り添いを大事にした地域を住民の皆さんとともに作りたい。そのためには、まだまだボランティアの皆さんの力が必要です！新宮地区・熊野川地区のために、あなたの気持ちとチカラを貸してください！

新宮市災害ボランティアセンタースタッフ一同

※当センターは、新宮市社会福祉協議会を核として、近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会、ピースポート、わかやまNPOセンター、大阪ボランティア協会、和歌山県社会福祉協議会との協働で運営しています。



写真①:完全に屋根がずれてしまった家(熊野川町)／写真②:電話等が使えず、まち中の電柱にチラシを貼って災害ボランティアセンターの開設を知らせる／写真③:まがりくねった道路標識／写真④:開設4日目の災害ボランティアセンター受付の様子／写真⑤:全国からのメッセージ／写真⑥:船が屋根にささってしまった家、水位の高さを知る(熊野川町)／写真⑦:被災したお宅で活動するボランティア／地図①:新宮市の位置



新宮市災害ボランティアセンター長 奥西 誠人さん

去る9月3・4日に、新宮市を襲った台風12号による豪雨によって日本一降水量が多いと言われる熊野川流域に河川の氾濫をもたらし、これまでにない想像をはるかに上回る甚大な被害となりました。住民が力を合わせ助け合いを行っています。高齢者世帯も多く、住民の助け合いだけでは限界があります。センター開設当初から、県内外から多くのボランティアの方々に駆けつけていただき、少しでも、早く元の生活を取り戻せるよう懸命の活動をしていただいておりますが、まだまだ多くのボランティアの皆様が必要です。特に熊野川地区では、道路が寸断され立ち入れなかったこともあり、復旧作業が遅くなり、早急の対応が求められております。住民の助け合いだけでは、手が回りきれないところに、丁寧なお手伝いをしていただきたいと思います。ぜひ継続的な支援をよろしくお願いいたします。(ご挨拶:奥西 誠人)



新宮市災害ボランティアセンター副センター長 西 徹さん

熊野川地区は人口が少なく、高齢者が多い地域で、他人の支援や支援の声を出すことには遠慮がちな一面があります。住民中心・地域共助を大切にしながらも、現実には、「もう住めない…引っ越しせざるを得ない…」など、住民の方々の暮らしへの不安を取り除くにはまだまだ時間も支援の手もかかる過酷な状況に置かれています。住民の拠り所となるよう立ち上げた「熊野川サテライト」では、日頃から顔の見える関係を築いてきた市社協職員2名をリーダーとし、美しい熊野川を、また帰ってきたいと思える住みよいまちを取り戻すためのボランティア活動を行っています。

熊野川にも思い出が消えそうになっている人たちがたくさんいることに気づき、心を傾けていただき、市民のみなさんをはじめ、多くの「ひと」に共感的に「助け合い」に関わっていただく時だと感じます。みんなの支援が希望の光です、熊野川で待っています。(ご挨拶:西 徹)

世界遺産のまち・新宮、カヌーと瀨峡のまち・熊野川、その被害状況



◎新宮地区

～これからの暮らしを見つめて

新宮地区(人口 30,662 人・14,914 世帯/H22. 3 月末時点)では、床上全壊 1,397 軒、床下 1,089 軒、流出8軒、その他非住家にも多数の被害がでています(9月 21 日現在)。今なお、道路の寸断により、地域住民の生活に大きな支障をきたしています。この状況を回避すべく、元気づけや見守りを地域の支援者と連携しながら、住民の自立的な生活復興を支援するスタンスを通じて、地域で一人も見逃さない活動につなげていくことを大事にしています。(報告:土橋 一晃)



9月15日
→ グラウンドづくり

ボランティア駆けつける



◎熊野川地区

～地域が一步踏み出せる支援を

熊野川地区(人口 1,721 人・949 世帯/H22.3 月末時点)では、死者 6 名、住家 2 階を超える浸水など被害は地域全体の 6～7 割と広域に及びます。津波被害にも重なって見え、実にデリケートな現場といえます。特に、国道 168 号の寸断はボランティア活動にも支障が出ています。依然、電気や水道(山水で対応)など復旧は万全とはいえず、電話の不通からも地を歩きニーズキャッチの活動を大切にしています。(報告:南出 考)



新宮市災害ボランティアセンターの取り組み

◎新宮地区

台風が去って災害ボランティアセンターを立ち上げようにも電話や無線が使えず、最初はハンドマイクを持ってセンター周知のため被災地を歩いて回り、1軒1軒に声をかけてニーズをひろいました。災害ボランティアセンターはこれまで設置訓練に参加していただいたボランティアのみなさんで運営しています。このボランティアのみなさんがいなければセンターはまわっていません。毎日ありがとうございます。現在新宮地区については、ニーズの件数も減ってきており、全国の皆さんから寄せられた物資を詰め合わせた「結夢(ゆめ)バック」を通して、地域のボランティアの皆さんによるニーズの拾い出しができる状況になりつつあります。それも全国からかけつけてくれたボランティアの皆さんのおかげです。しかし、ニーズの声が減りつつある今も、依然として毎日数件のまったく新しいニーズが上ってくるのも事実で、ボランティアの数が足りず、ボランティアの皆さんの力を貸していただきたいと強く思っています。(報告:奥田 修子)



◎熊野川地区

熊野川町は一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が多い地区です。過疎地でもあり、これまでも住民が助け合いながら生活してきました。しかし、今回は隣近所みんなが被災している状況で、それぞれが自分の家のことで精いっぱいです。一人暮らしや高齢の世帯の方は、何とか頑張って片付けようとしています。とても手に負える状態ではありません。また被害が大きいので、一軒のお宅に何度も活動に行ってもらわないといけません。現在でも 80 件近くのニーズがあるにも関わらず、まだ一度もボランティア活動に入っていないお宅もあり、支援を待っている方が大勢います。被災してから 1 カ月が過ぎようとしていますが、厳しい状態が続いており、まだまだ支援の手が必要な状況です。(報告:岡崎 久子)



あなたの気持ちとチカラを、新宮・熊野川へ！ 1万人プロジェクト



9月30日(金)現在、4,391人のボランティアが新宮・熊野川へ応援に駆けつけてくださいました。本当にありがとうございます。実は、9月24日(土)の487人をピークに、ボランティアの数は減少しており、9月30日(金)は88人でした。センターで既に受け付けているSOS(ニーズ)に応えるだけでも、さらに6,000人の気持ちとチカラが必要です。1日200人のチカラであと30日、1日500人のチカラがあれば12日でのべ1万人に達します。応援、お願いします！

参加方法① 思い立った時が活動のはじめどき！自分の参加できる日に、個人でボランティアに参加する！

参加方法② 車を出せるなら、仲間と誘い合わせて、相乗り方式でボランティアに参加する！(道中、気をつけてお越ください)

参加方法③ マイクロバスをチャーター出来るなら、「ボランティアバス」を企画し、仲間を集めて参加する！(企画相談に乗ります)

協力方法④ 自分はボランティアに参加できないが、参加できる人に情報が届くようPRに協力する！(ブログ情報等ご活用ください)

協力方法⑤ 自分はボランティアに参加できないので、募金をする、または募金を呼びかける！(ブログ情報等ご活用ください)

※物資については既に多くのお気持ちをお預かりしています。新たな受け付けはしておりませんのでご了承ください。

※上記以外の支援方法について思いつかれた方は、新宮市災害ボランティアセンターまでご相談ください。(呼びかけ:大江 真季)



新宮・熊野川へのアクセス(10月4日現在。最新情報はお確かめください) (調べ:志場 久起)

車の場合

◎新宮地区へ ★大阪・和歌山市方面から…阪和道・南紀田辺ICから国道42号線利用。和歌山ICから3時間半～4時間程度。
☆名古屋・三重方面から…紀勢道・紀勢大内山ICから国道42号線利用。
◎熊野川地区へ ★大阪・和歌山市方面から…阪和道・南紀田辺ICから国道42号線・国道311号線(田辺市本宮町)国道168号線利用。和歌山ICから2時間半～3時間程度。
☆名古屋・三重方面から…紀勢道・紀勢大内山ICから国道42号線(熊野市)国道311号線・国道169号線(宮井大橋)国道168号線利用。169号線では一部区間交互通行を実施中。10～15分程度の待ち時間が発生することがあります。
※新宮市内と熊野川地区を直結する国道168号線は、現在通行止めです。

列車の場合

★大阪・和歌山方面から…JRきのくに線は紀伊勝浦～新宮間不通、代行バス運転中。紀伊勝浦までの特急は1日2往復。※電車・代行バスのダイヤはJR西日本のウェブサイトをご覧ください。
☆名古屋・三重方面から…JR紀勢本線は熊野市～新宮間不通、代行バス運転中。熊野市までの特急は1日2往復。※熊野市～新宮間は10月11日復旧予定。10月10日までのダイヤはJR東海のウェブサイトをご覧ください。